

内視鏡的碎石術の治療を受ける患者さんへ
【尿管嵌頓結石に対する逆行性 vs 順行性尿管碎石術のランダム化比較試験】
へのご協力をお願い

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック泌尿器科では「尿管嵌頓結石に対する逆行性 vs 順行性尿管碎石術のランダム化比較試験」という臨床研究を行っております。この研究は、上中部尿管の嵌頓結石に対して従来の逆行性と新規の順行性アプローチによる内視鏡的碎石術の治療成績を比べることにより、尿管結石の新しい治療方法の確立を目指すことを主な目的としています。患者さんの QOL（生活の質）改善のためにも、より治療効率の良い手術の確立が望まれています。ご理解とご協力をお願いいたします。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は社会医療法人宏潤会大同病院倫理審査委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

2018年3月1日 ~ 2023年3月31日

- 今回の調査研究の対象は、上部または中部尿管結石と診断され、内視鏡的手術加療を行う予定の方です。
- 標準治療として確立された2種類の術式を保険診療の範囲内でガイドライン等に即して比較対照する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニックに帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

社会医療法人宏潤会 大同病院、だいでうクリニック 泌尿器科

研究責任者：藤井 泰普

T E L : 052-611-6261(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

